

学校評価について

1 学校評価委員からのご意見

- ・コロナ禍のため地域の方々が学校の様子を見ることができなくなったのが残念である。
 - ・コロナ禍において、教育活動をできるだけやれるよう工夫し、実践されている。
 - ・先生方の努力がわかる。その努力をもっと外に発信するとよいので協力したい。
 - ・1年生も落ち着いていた。先生方の指導のおかげである。
 - ・幼稚園でも、行事を工夫して行ってる。
 - ・充電保管庫は、改めてみると大きく、場所をとると感じた。
 - ・充電保管庫にぶつかっても怪我をしないように、工夫がされていた。
 - ・幼稚園でも、アプリを活用することで、ペーパーレス化を進めている。
 - ・上級生の頑張りを見て、下級生は模範にしたり目標にしたりする。コロナウイルス感染症予防のため行事がなくなっているのは残念である。少人数でも縦割り班を作って、6年生が活躍できる場を設けてほしい。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響を、大人も子どもも受けている。その中で自分の気持ちを表すことが難しい子どももいるので、アンテナを高くして受け止めて欲しい。
 - ・新型コロナウイルスの影響を大きく受けた昨年に比べ、学校が盛り上がっているのを感じた。
 - ・大人の世界でいじめが多くなっている。それが子どもにも影響があるのではないか。
 - ・健やかに育てている姿を見るとありがたい。
 - ・幼稚園の頃できていたこと（座る、先生の方を見る）ができていないところが見られた。甘えが出ていたり、リラックスしていたりしているのかもしれない。
 - ・コロナ禍は行事を見直す機会となった。何を厚く、何を薄くするのか。子どもたちにとってよい体験になるようにしていきたい。
 - ・子ども達が落ち着いて学習していた。
 - ・行事がなくなるのは気の毒だ。早く行事が復活するといい。卒業式、入学式など節目の行事が元のようになるといい。
 - ・今年度は行事が少しできてよかった。
 - ・学校の朗らかな感じが見られるのは、地域のいいところが出ているのだろう。
 - ・感染症予防対策として南流山小では吹かなくてよいタイプの鍵盤を導入した。
 - ・近隣小の登校班は1, 2年生限定で行っている。集団で登校すると、信号を見ない、車が来ているかどうか確認しないなど、よくない面も出てきた。
 - ・朝のあいさつについて。恥ずかしがってあいさつできなかった1年生が学年が上がるにつれてできるようになっている。緒ヶ崎のあいさつの基本になっている。
 - ・掲示してある絵画がとてもよかった。
- ▲カーテンが汚く擦り切れているので、きれいにしたり、新しくしたりした方がよい。
▲お守り隊の高齢化の問題もあり、子どもたちの登下校の安全体制については見直しをする必要もでてきた。

2 評価を受けて

ほぼ全ての項目で、昨年度よりも肯定的な評価をいただきました。昨年度のアンケート結果をもとに、教育活動の改善を進めたことが評価につながったものと捉えています。また、コロナ禍前のR1年度からR3年度までの3年間で俯瞰しても、評価の大きな変動はありませんでした。コロナ禍においても、教育活動を工夫し、日々できることを行っていると評価していただいたと結果と考えます。職員の励みにもなります。ありがとうございました。特に、「学校に楽しく通っていますか」の設問に、児童、保護者、教員が肯定的評価をつけていました。友だちと関わりながら、楽しい学校生活がおくれていることは、大変うれしく思います。

反面、「自ら学ぶ子に育っている」「自分の気持ちや考えを言葉できちんと伝えられる」の項目は、肯定的評価が3年間70%強で改善されていないとも言えます。また、「たくましい子に育っている」は、保護者評価と教員評価の差が大きくなりました。今、教育は大きく変わり、知識だけではなく思考力や意欲も問われるようになりました。毎日の体験や生活習慣が今まで以上に大事になっています。誰かがやってくれる、誰かが言ってくれるような受け身の姿勢ではなく、自ら学ぶ、積極的に学ぶことができよう指導を工夫していきます。

地域を生かす学びについては、評価はやや低かったのですが、オリンピック聖火ランナーの卒業生を招いたり、オンラインを活用してサッカー選手と交流したり、工場見学を行ったりしました。来校機会が少ないため、学校の教育活動が伝わりにくい状況が多々あったと思います。情報発信についても今後の課題です。

学校評価へのご協力、ありがとうございました。保護者、地域の皆様と共に未来を担う子どもたちが健やかに成長することを目指して参ります。